

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和4年度）
研究開発課題名	アジュバントを応用した免疫寛容誘導ワクチンに関する研究
代表機関名	国立大学法人東京大学
研究開発代表者名	小檜山 康司

総合評価：良い

【評価コメント】

アジュバントデータベースを用いた免疫寛容誘導ワクチンアジュバントスクリーニング系の確立において、抗原特異的 IL-10 を誘導する候補アジュバントを、アジュバントデータベースおよび動脈硬化症モデルマウスを用いて同定した。候補アジュバントに明確な有効性は認められなかったが、その原因の一つが IFN- γ の産生であると推察しており、今後、抗炎症に関わる因子もスクリーニング系に組み込み、アジュバント探索手法の応用可能性を広げることが期待される。

免疫寛容誘導ワクチン探索に向けて、さらに手法の深化を進め、in vivo での評価系構築を含め、既存アジュバントを超える候補アジュバントのスクリーニングが可能な系に改善していただきたい。

以上